

【家庭数】

学校教育目標 <やさしく かしこく たくましく>

櫻の子



2月号 (令和5年2月1日)

児童数 549名

川越市立大東東小学校



変化に対応できる能力を育てる



もうすぐ立春。暦の上では春となりますが、朝の冷え込みが厳しい日はまだ続いています。早いもので、今年度も余すところ2カ月となりました。進級に向けた準備の時期を迎えました。気持ちを引き締め、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

狩猟社会 (Society1.0)、農耕社会 (Society2.0)、工業社会 (Society3.0) 情報社会 (Society4.0) という人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ、5番目の新たな社会を「Society5.0」と言います。これは、政府が策定した「第5期科学技術基本計画」の中で提唱されている新しい社会の在り方です。この社会は、「テクノロジーによってオンライン空間と現実世界をつないで、さまざまな社会の問題を解決する、人々が暮らしやすい社会」と考えられ、デジタル革新とイノベーションを活用することで実現する社会とされています。

令和に生きる子ども達は、生まれたときからパソコンやスマートフォンなどが身近にあり、インターネットを使ったゲームや通信などを自由自在にこなして成長しています。ビデオや画像などが簡単に手に入れやすく、自らの興味・関心に応じて様々な知識を身に付けることができます。

一方で、信頼性の低い情報を鵜呑みにしたり、顔が見えない相手との通信等で危険な状況に追い込まれたり、通信方法を間違えて大切な友達から信頼を失うなど負の部分も多くあります。さらに、多くの人と話し合い、協働することが苦手で、知識はあるがコミュニケーションがうまく取れず人間関係を築く力が十分に身につかず大人になってしまうことを心配されます。

令和の時代には、これまで人類が培ってきた文化や伝統に加えて、新たな価値観やものが次々と創り出されることでしょう。AI (ロボット) が出現し、私たちの生活そのものが予想を超えるスピードで変化していくとされています。

こうした時代を生きる子ども達には、コミュニケーション能力と自らの考えを発信できる言語力と (日本語や外国語) が必要です。そのために多くの体験を通して、確実な知識や技能を身に付け、様々な人と関わり、価値観や考えに触れ、深く考えることが大切です。これからの社会を逞しく生き抜く力を培うために、2020年に新学習指導要領が改定されました。そこでは、子ども達に必要な力を3つの柱とし、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく育てるよう考えられました。本校においても、新学習指導要領を踏まえ、算数科を通して児童の主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、研究を進めております。

これまで培ってきた良さを継承し、新しい環境のなかで子ども達が逞しく幸せに生きるために必要な力を育てていきたいと考えます。



